

会 議 等 結 果 報 告 書

名 称	第 6 回自治基本条例づくり検討会議																		
日 時	平成 1 9 年 2 月 1 6 日 (金) 19 時 00 分 ~ 20 時 30 分																		
場 所	役場審議室																		
出席者	<p>検討会議委員：出席 5 名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 16.6%;">氏 名</th> <th style="width: 16.6%;">出欠</th> <th style="width: 16.6%;">氏 名</th> <th style="width: 16.6%;">出欠</th> <th style="width: 16.6%;">氏 名</th> <th style="width: 16.6%;">出欠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡 本 康 裕</td> <td></td> <td>大 内 和 行</td> <td></td> <td>板 垣 貴 子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡 辺 雄 介</td> <td></td> <td>瀬 川 英 樹</td> <td></td> <td>大 石 理 香 子</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>事務局：坂弥行政改革推進班主幹、谷口主査</p>	氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠	岡 本 康 裕		大 内 和 行		板 垣 貴 子		渡 辺 雄 介		瀬 川 英 樹		大 石 理 香 子	×
氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠														
岡 本 康 裕		大 内 和 行		板 垣 貴 子															
渡 辺 雄 介		瀬 川 英 樹		大 石 理 香 子	×														
内 容	<p>岡本代表： 議題に基づき意見交換をお願いしたい。</p> <p>事務局： 当日配布した資料について説明。</p> <p>富良野市の職員研修からは、条例が制定されても、まだまだという段階と感じた。条例を制定したまちの生の取組みや経験をもう少し聞きたかった。基本条例を進めるには、行政も住民も個々がしっかりしなければならないと感じた。</p> <p>条例づくりには、自治基本条例にとられるだけでなく、自由な発想のもと、ルールを検討をしていくことも良いと思う。行政の情報の出し方が来ていない、情報が住民に伝わっていないことが話されてきたが、これも検討の一つと思う。</p> <p>研修からは、情報を出すための条例を作るだけでなく、うまく機能させていくことが大切と感じた。</p> <p>ルール条例に関して、行政側も不安視していることを感じた。条例が出来たからといって、よいまちづくりや理想のまちづくりが出来るということではなく、市民の意見を反映していくことが必要と言われた。ルールを作っても、その運用が大切であり、条例に魂を入れることが必要だと思う。</p> <p>研修では、ルール条例に対する市職員の高い意識が伝わってこなかった。同じ市職員でも、ルール条例に携わった者と、周囲の者との気持ちに違いがあると思う。上富良野の方が、職員は少ないが、職員の意識が高いような気がした。</p> <p>これまでに住み続けるための課題も話されてきた。教育や医療は大切で、まちづくりに欠かすことは出来ないと思う。町民それぞれが良くしたいと思う意見をどう行政に伝えていくかの課題はある。</p> <p>学校と P T A の関係では、互いの立場から、意見を出し合い良いものを作り上げていくことの難しさを感じる。子どもを預かってもらっている親の立場とか、教職員は定期異動があるなど、互いの関係づくりに難しさがある。</p> <p>先生も求められるものを達成するには、大学を卒業し直ぐに教壇につくため難</p>																		

しい面はあると思う。東京の杉並区では、教員の人材づくりに向けて、養成塾を開講し取り組んでいると聞く。

良い人材を求めるには、先生の取り巻く環境（処遇）を改善することも必要でないか。

まちづくりには、子供向けの学習も必要と思う。出前講座形式で「自治のかたち」を伝えるとか、子供議会などでまちづくりに興味を持ってもらうとか、子供のうちから総合学習で町のことを学んでいくことが必要と思う。

色々な条例に関して、職員が講師となって説明を行い、情報発信に努めるべきだと思う。その一つとして、出前講座は、子供向けバージョンがあっても良いと思う。役場と町民との距離を縮める工夫により、職員と町民の意識を変えることが必要で、まちづくりに興味を持ってもらい、意見を出してもらうことが必要と思う。

定住化に向けた取組みをまちづくりに据え、その一つとして観光に力を入れるべきだと思うが、観光イベントに対する補助金が減ったと聞く。

イベントがまとまったことは良いことだと思う。祭りとしてもっと盛り上げれば、人も来ると思う。

ラベンダー祭りと十勝岳火祭りは、それぞれに経過があり、観光イベントと地域イベントの側面がある。一つにまとめたが、イベントの目的をはっきりさせた上で運営していくことが良いと思う。

以前開催していた商業と農業が連携したイベントは良かったと思う。観光的なイベントは、民間のノウハウが生かされる分野であり、行政はサポート役に回った方が良いと思う。

岡本代表： 色々と意見が出されているが、議題に基づき今後の会議の進め方について意見をお願いしたい。

基本条例のような全体を網羅したものとするのか、ルール条例のような部分的なものとするのかを考える必要がある。

どのような仕組みが良いのか、具体の論議をしてはどうか。

富良野市のルール条例を策定した経過のように、仕組みの積み上げが良いと思う。基本条例のような全てを作り上げることは壮大でイメージが難しい。

情報と参加に関することは身近で分かりやすいのでないか。

個々の条例がどのようにつながって、行政が進められているのかが分からない。仕組みの体系化が必要と思う。

情報公開と参加に関する条例や仕組みがどのようになっているのかが分かりづらい。一つとして出前講座が行われているが、情報公開等のどこに位置付けられるのかが分からない。

事務局： 行政情報の提供手法として、出前講座、パブリックコメント、会議の公開などを進めている。

情報公開に関する仕組みのフローチャートがあれば分かりやすいし、その上で

論議していくことが良いのでないか。

行政は情報を出して町民を振り向かせたいと考えているが、思うようにはなっていないのでないか。現在の内容を整理することが必要でないか。

事務局： 情報公開や行政情報の提供に関しては、総務課情報管理班が担当している。現在の情報の取扱について意見交換することも必要かと思う。情報公開等に関する資料を事務局で作成するので、合わせて論議してみてもどうか。

岡本代表： 事務局から説明のあった内容で次回会議を進めることで良いか。

全体： 了承

2 その他

岡本代表： 次回会議は、3月7日（水）、19時からとする。

《終了》 20時30分